

JATA

http://www.jata-net.or.jp/ **Communication**

じゃたこみ

11・12

2019年
11月20日発行
vol.153-154

発行 一般社団法人日本旅行業協会広報室
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3 全日通商が関ビル3階
http://www.jata-net.or.jp/

特集 TEJ 2019 大阪・関西
初の大阪・関西開催は大盛況
ツーリズムによる地方創生へ大きな成果
世界19カ国のトップが集結
第3回TEJ観光大臣会合
世界的建築家・安藤忠雄氏が基調講演

TEJ盛り上げた
多彩なプログラム

テーマ別シンポジウム
ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー
商談会
IRゲーミングEXPO2019
ブースグランプリ



一般社団法人 日本旅行業協会

大阪・関西の底力を追い風に大きな成果 ツアーズによる「地方創生」の可能性示す

「ツアーズ EXPO ジャパン (TEJ) 2019 大阪・関西」が10月24日から27日までの4日間にわたり、大阪・南港北のインテックス大阪と周辺施設で開催されました。初めて東京を離れたTEJは、地元の熱意と底力を追い風に大きな成果を収めています。

出展コマ数も昨年の4.3倍に拡大しており、TEJへの期待の高さを感じる」と語りました。

収入・来場者とも想定上回る

出展企業・団体は 過去最高規模に

「TEJ2019 大阪・関西」には、世界100カ国・地域と47都道府県から過去最高の1475に及ぶ企業・団体が出展。展示商談会の件数は前年比13%増の8392件に達し、会期中の来場者も15万人以上を数えました。

大阪・関西開催を振り返って

潜在的なパワーをTEJで具現化

TEJ実行委員会の委員長も務める田川博己JATA会長は主催者記者会見で、「国際的なビッグイベントが続く『天の時』と『ゲートウェイ』大阪・関西という『地の利』、地元の大協力があって、『人の和』によって、大阪関西の潜在的なパワーが具現化される」と強調。

「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート(VJTM)」について、海外バイヤーとメディアを対象とする「関西視察プログラム」を通じて「大阪・関西エリアの認知度アップにつなげたい」と意欲を示していました。

主催事務局代表のJATAの越智良典理事・事務局長は、「出展協賛・来場収入により8億円以上を得て、来場者数も15万人を超えるなど想定を上回る成功を収めた」と総括し、「営業広報・商談・来場に尽力いただいた関西支部と全国の会員各社」への感謝を述べた上で、その成果として、「二つ目は、関西マーケットの底上げと開催地社員の啓蒙ネット

ワークづくりや一般への需要喚起、二つ目は、全国どこでも開催可能な『必勝モデル』の完成」を挙げました。具体的には、(1)東京と地元バイヤーの双軸体制による展示商談会の定着、(2)大臣会合・展示商談・セミナーの効果的な関係づけ、(3)IRやテーマ展示など最先端の取り組み紹介、(4)JATA独自事業のPR(ノート

JNTOの清野智理事長は、大阪で初めて開催される



来賓として登壇した観光庁の田端浩長官



開会式で挨拶する日観振の山西健一郎会長



JATAの田川博己会長



JNTOの清野智理事長



大阪観光局の福島伸一会長

ルダム大聖堂キャンペーンをあげています。

地元関係者の団結が原動力に

ツーリズムEXPOジャパン推進室の早坂学室長は、「TEJが東京の5年間で一定の完成形に到達し、『観光で地方創生を』という大前提に基づいて、観光が地域を活性化させるモデルになるよう準備を進めた」と振り返り、「関西・大阪の皆さんも観光を通じた地域活性化を強く望んでいたことが『TEJ2019 大阪・関西』の成功につながった」と述べて

います。

早坂室長は、「旅行業界やツーリズム産業の関係者のみならず、経済界や自治体も一致団結して、『TEJ2019 大阪・関西』を絶対に成功させるといふ思いで、地元がまとまっていたことこそ、15万人を超える来場者を集めた原動力」と強調。「TEJに期待するだけでなく、自らも積極的に協力しようという気概を地元関係者に共有していただき、一般日に数千人規模という開場待ちの列が実現された」と語っています。

開会式

地域を元気づけるツーリズム

開会式で主催団体を代表して挨拶した日観振の山西健一郎会長は、6回目を迎えるTEJ



UNWTOのズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長



基調講演を行った安藤忠雄氏

を初めて東京以外で開催したことについて、「ツーリズムが地域を元気づける大きな役割を果たすことを証明し、そのレガシーを来年の『TEJ2020 沖繩リゾート展』にも引き継いでいく」とその意義を強調しました。山西会長は、「国内でも最も勢いのある地域であり、開催地の熱い支援によって『TEJ2019 大阪・関西』も実現した」と指摘しています。

G20大阪サミットの「G20大阪首脳宣言」でも観光が世界経済の重要な牽引役となることなどが盛り込まれたことも踏まえ、山西会長は「ツーリズムの持つ力と責任をいかに発揮するかというテーマについて参加者に提案し、観光を通じて平和な世界の実現に寄与する」と語りました。

関西ゲートウェイで双方向交流

来賓として登壇した観光庁の田端浩長官は、2018年の国際観光旅客数が前年比5.6%

増の14億人に達して9年連続で増加したことに言及し、「観光は経済だけでなく、社会共生、環境保護、文化、平和・安全に大きく貢献するものだ」と強調。「観光先進国を目指すうえで、諸外国との双方向交流により相互理解を深め、世界に開かれた国にする」と語り、「今回のTEJを通じて、世界の注目が集まる関西をゲートウェイに双方向の交流拡大を」と呼びかけています。

また、主催者記者会見に出席した国連世界観光機関（UNWTO）のズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「ラグビーワールドカップ（RWC）に続く2020年の東京オリンピック・パラリンピックを通じて、新しいスポーツツーリズムをリードしてほしい」と述べ、「来年のTEJでは、沖繩から海洋ツーリズムも発信される」と期待を示しました。

基調講演

建築家の安藤忠雄氏が登壇

開会式に続いて行われた基調

世界19カ国から観光大臣などが出席した第3回TEJ観光大臣会合

講演には、大阪生まれで世界的な建築家として知られる安藤忠雄氏が登壇。2025年の「大阪・関西万博」が「海の上に浮いている夢洲」で開催されることを踏まえ、「『どこにもできない観光』を研究して『世界一素晴らしい博覧会』にしてほしい」と呼びかけています。

観光大臣会合

人と文化による地域活性化を議論

世界19カ国から観光大臣・観光行政トップと国際観光関連組織の4団体が参加した第3回TEJ観光大臣会合では、「人と文化による地域活性化」をテーマに議論。UNWTOのポロリカシュヴィリ事務局長は、「加盟国同士の情報共有を行うだけでなく、先進国から途上国への知識移転も必要だ」と強調。「今回の観光大臣会合を受け、地域観光を促進する『ルーラル・ツーリズム』についてのプロモーションを強化する」ことも明らかにしています。

※「基調講演」と「第3回TEJ観光大臣会合」の詳細は、TEJの公式サイト(<https://www.t-expo.jp/biz/press/tejdailynews.html>)でご覧いただけます

「ジャパン・ツーリズム・アワード」

国土交通大臣賞は 農泊による地域活性化

開会式に続いて行われた第5回「ジャパン・ツーリズム・アワード」の表彰式では、国土交通大臣賞、観光庁長官賞、エクセレントパートナー賞、学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード、DMO推進特別賞、UNWTO倫理特別賞の皆さんが表彰されました。

「農泊と世界をつなぐ地域活性化サービス」で新たに制定された国土交通大臣賞を受賞した株式会社百戦練磨は、訪日客を対象に新しい宿泊スタイルを提案。地方へのインバウンド誘致の「切り札」として

評価されました。同社の上山康博代表取締役社長は、「日本の伝統的な文化体験と農村地域の人々との交流を楽しむ農村民泊についてコンサルティングを行い、FIT化やインバウンド促進をサポートしてきた」とコメントしています。



ジャパン・ツーリズム・アワード各賞の受賞者と関係者

WELCOME RECEPTION

参加者や関係者が 一堂に会して交流

「ツーリズムEXPOジャパン2019 大阪関西」の参加者や関係者が一堂に会したレセプションでは、菅義偉内閣官房長官が寄せた祝電が披露されました。

菅官房長官は「観光を地方創生の柱、成長戦略の切り札と位置付けている」と強調し、「大阪関西では2025年の万博など様々なイベントも予定されている」と言及。「頑張る地方を応援し、より多くの旅行者に全国各地を訪れていただけるよう、政府においても全力を挙げていく」考えを表明しています。

内外のVIPが紫色の法被を身に着けて「だんじり」の前に勢ぞろいし、記念写真に納まりました。(表紙) 外国人を含む参加者が河内音頭の輪に加わり、一緒に踊って大阪の夜を楽しんでいました。



人力車に乗ってウェルカムレセプションに登壇したフィリピンのベルナデット・ロムロ・ブヤット観光大臣

ツーリズムEXPOジャパン2019 大阪・関西 特集号

- 1 **大阪・関西の底力を追い風に大きな成果
ツーリズムによる「地方創生」の可能性示す**
 - 大阪・関西開催を振り返って ● 開会式 ● 基調講演 ● 観光大臣会合
- 5 ● **テーマ別シンポジウム** 各分野のスペシャリストが討論
海外旅行 デジタルマーケティング エンターテインメント
- 6 ● **ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー**
41セミナーに約2500人が参加
- 7 ● **展示商談会**
展示商談会件数は前年比13%増の8392件に
- 8 ● **IRゲーミングEXPO2019** IR市場誕生で関連ビジネスに期待
● **ハンドオーバーセレモニー** “大阪・関西”から“2020沖縄”へ
- 16 ● **ブースグランプリ** グランプリは「瀬戸内」と「北海道」
● **活況の大阪・関西エリアブース** 2府4県から多くの出展者が趣向凝らす

アウトバウンド促進協議会 (JOTC)

- 9 ● 北中南米部会がペルー研修旅行
● JOTC航空会社インタビュー 第12回 カタール航空

〈本部支部活動報告〉

- 10 ● **ノートルダム大聖堂復興へ支援金**
JATAとフランス観光開発機構が贈呈式
● **6団体・企業が世界観光倫理憲章に署名**
- 11 ● **英国旅行業協会が東京で年次総会**
JATAなどの誘致活動も奏功、アジアで初開催
● **支部活動報告**
- 12 ● **要人往来**
● **読み物&マーケティング**
・ハイ!こちら消費者相談室 苦情事例に学ぶ[®]
私が契約者なのに、なぜ勝手に取消をした!
・法務の窓口 第78回 添乗業務の資格とは
- 15 ● **事務局便り**
- 17 <広告>中国旅行新時代/TEJ2019 大阪・関西

表紙写真

初めて東京を離れて開催された「TEJ2019 大阪・関西」には、観光大臣会合に出席した19カ国からの観光行政トップをはじめ、ツーリズムに関わる内外のVIPが集結。G20大阪サミットも開催されたインテックス大阪から、「だんじり」さながらの勢いで「ツーリズムの今」を世界に発信しました。

「旅行業登録票」はJATAホームページより作成およびデータのダウンロードができるようになりました。

ダウンロードができる旅行業登録票は、下記のとおりです。

1. 旅行業登録票 (業務範囲: 海外旅行・国内旅行)
 2. 受託取扱企画旅行 別掲 (業務範囲: 海外旅行・国内旅行)
 3. 旅行業登録票 (業務範囲: 国内旅行)
 4. 受託取扱企画旅行 別掲 (業務範囲: 国内旅行)
- ※ご希望の方は、JATAホームページより「会員・旅行業のみなさまへ」をご参照ください。

発行 一般社団法人 日本旅行業協会 広報室
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3
全日通費が関ビル3階
<http://www.jata-net.or.jp/>

旅行業基幹業務システム

symphony Atwo で、資金繰りの掌握も万全！



- その1 入金予定日/支払予定日をカルテへ自動セット!
- その2 仕入先毎の支払予定、顧客からの入金状況を一覧で出力!
- その3 本日時点の入金や未収金状況を掌握! 経営戦略に活用!



営業～経理まで完全連動しているからこそ、盤石の管理!



株式会社 ウィ・キャン
<http://www.w-e-can.co.jp/>

本社: 東京都港区元赤坂1-1-8 赤坂三三ビル6F / 03-3423-2161
大阪: 大阪市淀川区西中島5-11-10 第三中島ビル4F / 06-6390-3321

ツーリズムEXPOジャパン 2019 大阪・関西

テーマ別シンポジウム

各分野のスペシャリストが討論 独自の知見で今後の道筋を探る

「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2019 大阪・関西」フォーラム&セミナーではテーマ別シンポジウムが開催され、「海外旅行」「デジタルマーケティング」「エンターテインメント」という、3つのテーマについて議論を深めました。

【海外旅行シンポジウム】

テーマ 「インバウンド4000万人時代の海外旅行市場はどなる～関空の強みを活かして新たな商機を～」
基調講演 山谷佳之氏(関西エアポート株式会社 代表取締役社長CEO)
モデレーター 黒須宏志氏(株式会社JTB総合研究所 研究理事)
パネリスト 遠藤修一氏(株式会社JTB 執行役員 個人事業本部海外仕入商品事業部長)／永原範昭氏(フィンエアー日本支社長)／井上剛志氏(公益社団法人関西経済連合会 理事・国際部長 アジアビジネス創出プラットフォーム管轄)

冒頭、関西エアポートの山谷佳之代表取締役社長CEOが基調講演し、関西国際空港の日本人と外国人の利用者比率が31対69で「外国人が日本人を大きく上回っている」と指摘。

永原氏は、「機動性の高い日本路線」が「グローバルネットワークとの連携も図りやすい」と強調し、新たな需要の開拓に期待を表明。遠藤氏は、「リアルな旅行会社によるヒューマンタッチも重要」と語り、付加価値の高い市場開発への道筋を訴えました。井上氏は、「アウトバウンドへの対応が双方向交流活性化への鍵を握る」とい



活発な議論が交わされたテーマ別シンポジウム

う見方を示しています。黒須氏は、「関空をゲートウェイとして活用し、アウトバウンドの拡大を」と総括しました。

【デジタルマーケティング・シンポジウム】

テーマ 「観光デジタルマーケティング:活用事例から考える今と未来」
モデレーター 鶴本浩司氏(トラベルボイス株式会社 代表取締役社長CEO)
パネリスト 金澤 亮氏(合同会社ユー・エス・ジェイ セールス&アライアンスマーケティング部 部長)／柴田 啓氏(株式会社ベンチャーリパブリック 代表取締役社長)／綱川明美氏(株式会社ピースポーク 代表取締役)／亀山秀一氏(日本政府観光局[JNTO] 理事長代理)

まず金澤氏が「デジタルプラットフォームが時代の主役」と指摘しました。綱川氏は、「提供側が想定していなかった新しい活用方法など、様々な可能性が広がっている」状況を紹介。亀山氏は、「SNSや公式アプリなどからデータを蓄積して分析し、マーケティングに役立てている」と説明しています。

鶴本氏は、「今やるべきことを見極めていかなければならない」と訴えました。

【エンターテインメント・シンポジウム】

テーマ 「エンターテインメントで地域を元気に」
モデレーター 佐藤博康氏(松本大学名誉教授)
パネリスト 小川友次氏(宝塚歌劇団 理事)／奥谷達夫氏(吉本興業株式会社 代表取締役副社長)／岡本 栄氏(三重県伊賀市長)／鄭 辰洙氏(韓国観光公社 東京支社長)

小川氏が「宝塚歌劇団は、市民から街の財産」と評価されている」と紹介。岡本氏も「先人の残した文化を将来の財産に」と強調しました。鄭氏は、「エンターテインメントを打ち出すには、日本政府観光局(JNTO)との提携も有効」と提言。奥谷氏は、「人を動かす大きな力を持つのがエンターテインメントだ」と強調しています。佐藤氏は、「継続や連携、共生がキーワード」と総括しました。

ツアーズ EXPO ジャパン 2019 大阪・関西

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー



旅行業界研究セミナーで講演する田川博己 JATA 会長

41セミナーに約2500人が参加 実務に直結し、経験値に広がり厚み

「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2019 大阪・関西」会期中の10月24日と25日、業界日限定プログラムとして「ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー」が実施されました。旅行業界の実務に直結し、業界人の経験値に広がり厚みをもたらすセミナーは41を数え、約2500人が参加しています。

訪日教育旅行を拡大するための具体策

未来を担う若い世代の訪日教育旅行は、将来の日本ファンにも繋がるものと期待されています。セミナーでは、訪日教育旅行誘致の第一人者である長野県長野高等学校海外交流アドバイザーである恵崎良太郎氏が、訪日教育旅行の意義として、(1) 受入地域におけるリピーターの獲得、(2) 日本の児童・生徒の国際理解、生きた外国語に触れる、(3) 未来志向の国際関係を築く、という3点を指摘。前長野県観光部国際観光推進特別顧問でもある恵崎氏は、中国や台湾の市場特性などについても説明し、訪日教育旅行を通じた内容の濃い相互交流への期待を強調しました。

「自然」×「文化」×「スポーツ」の融合による 観光先進国への挑戦!

NPO法人みちのくトレイルクラブの相沢久美氏、小浜市・若狭町日本遺産活用推進協議会の下仲隆浩氏、Ageshio Jpanの古田桂一氏が登壇し、パネルディスカッションが行われました。

モデレーターを務めたJT B総合研究所の山下真輝氏が「地域独自のストーリーと結び付く旅行商品の魅力」を訴えたのを受け、相沢氏は、「自然と人との共生」の願いを込め「みちのくトレイル憲章」を定めたことを紹介。下仲氏は、1500年におよぶ食文化のツーリズム化を目指す取り組みを説明し、外国人対象の空手専門旅行会社の役員である古田氏は、「空手ツーリズム」の創出へ意欲を示しました。

旅行業界研究セミナー／旅行業界トップによる 「旅行業界の未来」についての講演

旅行業界への就職を希望する学生を対象に、業界の第一線で活躍する若手社員が旅行業の魅力などを語り合ったセミナーでは、JATAの田川博己 JATA 会長(写真)が「旅行業界の未来」をテーマに講演。

田川会長は、「双方向の交流人口が順調に増加しており、旅行業は成熟産業ではなく成長産業」と説明。また、AIに仕事を奪われる時代を迎える中で、旅行会社のカウンターやツアーコンダクターなどは「人間が担う業務であり、AIには取って代われない」と指摘し、運輸業や宿泊・サービス業なども含めた裾野の広いツーリズム産業の可能性を強調しています。

知られざるイスラエルの魅力 ～テルアビブへの直行便就航に向けて～

来春に予定されているテルアビブへの路線開設に合わせて、日本イスラエル親善協会副会長の池田真氏はイスラエルと周辺国を含む旅行商品造成に役立つ情報を紹介。イスラエルはメソポタミア文明とエジプト文明の中間地点にあり古代から文化が栄えたことと、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の発祥地であること、古代と近代の調和、豊富な観光資源、豊かな食文化などを指摘し、多様な旅行商品造成が可能であることを訴えました。「イスラエルは小さな国でも見所満載の魅力的な国で、また行きたいと感じさせる、リピーターの多い国です。是非多くのツアーを商品造成して下さい。」と締めくくりました。

付加価値の高い商品づくりへ積極的な商談 展示商談会件数は前年比13%増の8392件に

「ツアーズ EXPO ジャパン(TEJ)2019 大阪・関西」では、昨年が続いてバイヤーとセラーが各出展ブースで商談を行う形の展示商談会が実施されました。商談会の件数は前年比13%増の8392件に達し、質量ともに充実した商談が活発に行われています。

大阪 関西市場に大きな期待感

初めて東京を離れて開催された「TEJ2019 大阪・関西」での展示商談会について、近畿日本ツーリスト関西・関西サポートセンターの上垣讓業務課長は、「関西国際空港発着の直行便が増える



精度の高いマッチングシステムなどにより、質量ともに充実が進む展示商談会

など、ゲートウェイである関空の輸送力拡大もあり、サプライヤー側の大阪・関西市場に対する期待感の大きさを強く感じた」と全体的な印象を語っています。主にアウトバウンドの団体セーラスを担当している上垣課長は、「デスクティネーションやテーマに応じて、どれだけ現地の豊富な最新情報に基づいて企画提案できるかが問われることから、関空の路便拡充という西日本市場の環境変化を踏まえたサプライヤー側からの積極的な情報提供は、大変に有益だった」と指摘。「新規路線が開設される仕向地を中心に出来る限り多くのブースを回り、商談を通じて精度の高い情報を集めることができた」と振り返って

います。

高まる情報や資料のフォロイ

国内の自治体や商工会議所などが開催する商談会に参加してきた経験を持つ名鉄観光サービス商品事業本部国内旅行部の兼岩浩副部長は、「TEJも第1回から商談会に参加しているが、昨年からは展示商談会という形となったことで、商談を行いながらパンフレットなどの資料を入手したり、商談相手以外のスタッフと名刺交換もでき、貴重な機会となっている」と評価。「回を重ねることにサプライヤー側から提供される情報や資料もクオリティが高くなってきていることを実感している」と語っています。

国内各地でDMO組織が誕生するなど、商談会に対する地域側の意識も強まっており、兼岩副部長は「概要レベルの情報提供が中心だった以前の状況に比べ、昨年辺りから直ぐに企画や販売に活かせる素材をいただけるようになってきている」と強調しています。

効率的な商談会運営に高い評価

香港政府観光局(HKTB)の古谷剛アシスタントマネージャー(旅行業界担当)は、「事前アポイントメントシステムでマッチングが行われ、時間通りに進行するTEJの展示商談会は、海外の類似イベントに比べて効率的にオーガナイズされており、その運営に対する評価は極めて高い」と指摘。「今回は初めて大阪・関西で開催されたことにより、昨年までの東京での商談会に比べて、新たにコンタクトできた旅行会社も多く、その部分でもサプライヤー側の満足度は高かったようだ」と語っています。

近畿日本ツーリスト関西の上垣課長は、ホームグラウンドとも言えるべき大阪・関西で開催されたTEJについて、「2021年以降も大阪・関西で継続して開かれるように、関西マーケットからの海外旅行者数の増加を目指し、付加価値の高い商品づくりに向けて気を引き締めて取り組んでいきたい」と決意を示しています。

ツーリズムEXPOジャパン 2019 大阪・関西

IRゲーミングEXPO2019 / TEJハンドオーバーセレモニー

IR市場誕生で関連ビジネスに期待 ツーリズム関係者やIR事業者などが集結

「ツーリズムEXPOジャパン 2019 大阪・関西」では、昨年 に続いて日本経済新聞社との共 催による「インバウンド・観光ビジ ネス総合展」が併催されたほか、 今年初めてとなる「IRゲーミン グEXPO 2019」も同時開 催されました。

昨年7月の特定複合観光施設 区域整備法（IR実施法）成立 により、日本でもIR市場が誕 生することになったのを受けて、 観光産業とIR事業者が一堂に 会した同EXPOでは、IRオペ



ルーレットの模擬カジノが登場したブース



エンターテインメントチームのパフォーマンスも

レーターやIR導入を検討する 地方自治体、IR関連ビジネスへ の参入を検討している企業や団 体とツーリズム関連事業者の商 談会も実施。また、「日本版IR が開く観光大国日本」と「ギャン ブル等依存症対策のあるべき姿」 をテーマにセミナーも開催され、 専門家による講演には多くの関 係者が耳を傾けました。

さらに、出展各社のブースでは、 専属のエンターテインメントチー ムによるパフォーマンスやマジシ ャンによるパフォーマンスやマジシ ャンによるトリック・イリュージョン、ルーレッ

トなどのカジノ体験も行われ、来 場者はIR独特の華やかな雰囲気 も楽しみました。

“大阪・関西”から“2020 沖縄”へ ツーリズムによる地方創生、さらに



引継ぎ記念の旗を持つ下地芳郎OCVB会長



セレモニーで挨拶する田川博己JATA会長

2020 沖縄リゾート展」とし て、沖縄コンベンションセンターと周 辺施設を会場に開催されること になつており、同協議会の事務局 が置かれている沖縄観光コンベン ションビューロー（OCVB）は、来 年のTEJが沖縄で開催される ことを広く周知するため、同セレ モニーを行ったものです。

「ツーリズムEXPOジャパ ン（TEJ）2020」沖縄開 催地連絡協議会は、「TEJ 2019 大阪・関西」期間中 の10月25日、インテックス大 阪6号館Aの沖縄ブースで、 ツーリズムEXPOジャパン 2019→2020 ハンドオー バーセレモニーを実施しました。 来年のTEJは、「TEJ

同ビューローの下地芳郎会長に 引継ぎ記念の旗を手渡したTEJ 実行委員会の委員長を務める田 川博己JATA会長は、「ツーリ ズムによる地方創生を掲げて、東 京以外での開催に挑戦している TEJの最初のトライが大阪・関 西であり、関係者による一致団結 した協力により大盛況のうちに 業界日2日間を終えることがで きた」と挨拶。「ここに参集した 沖縄の皆さんにも、大阪関西で の開催を踏まえて万全の受け入 れ体制を整えていただくようお 願いしたい」と語り、同セレモニー に出席したバイヤーやセラーなど の関係者に「TEJ2020沖 縄」にも是非ご参加を」と呼びか けました。

北中南米部会がペルー研修旅行 現地サプライヤーとワークショップも

JATAアウトバウンド促進協議会(JOTC)北中南米部会ラテンアメリカワーキンググループは10月にペルー研修旅行を実施しました。参加者はペルー政府観光庁アカウント・マネージャーの野呂泰誠氏を団長に、航空会社、旅行会社から計6名。2018年に制定した「JOTCアメリカ大陸記憶に刻まれる風景30選」に

名を連ねるマチュピチュ、チチカカ湖のほか、レインボーマウンテンの1泊2日のトレッキング、聖なる谷のマス塩田やモライ遺跡という新しい素材を視察しました。またロサンゼルス／リマ間のフライトで

はラタム航空が今年からプレミアムクラスサービスに導入したフルリクライニングシートを体験したほか、鉄道やホテルなどを視察して、最新情報を収集しました。

最終日に開かれた商談会には、日本側の旅行会社4社に対し、70社の現地サプライヤーが参加を申し込むという盛況ぶり。現地で視察団を迎えたペルー政府観光庁インバウンド観光担当・副ディレクターのサンドラ・ドイグ氏は「この商談会を通し、今後さらに日本人客が増えることを期待します」と挨拶し、日本市場に対する注目の高さがうかがえました。



マチュピチュを訪れた視察団



現地観光局インバウンド観光担当・副ディレクターのドイグ氏

<ご協力いただいた皆様>

Accor Hotels
ANDEAN LODGES
CUSCO RESTAURANTS SAC
Explora
HOTELES HACIENDA DEL PERU
HYATT CENTRIC SAN ISIDRO LIMA
Marriott Perú
MOUNTAIN LODGES OF PERU
INCA RAIL S.A

JOTC・航空会社インタビュー 第12回

大阪から世界へ 2020年4月から関空に復帰

カタール航空(QR)が4年振りにドーハ／関空線を再開します。ドーハから世界160都市へアクセス可能な「世界のハブ」として、ビジネスをはじめ、近年ではレジャー利用も高まるQRの、今後の日本市場に対する方策について伺いました。



カタール航空
日本支社長 宮本慎二氏

——まずは2020年4月から運航を再開する関空線について教えてください。

宮本 関空／ドーハ線を2020年4月6日から月水金土日の週5便で、6月23日からはデイリーで運航します。現在デイリー運航をしている成田、羽田線に加え、3つ目の就航路線となる関空線は、当社にとって西日本の重要なゲートウェイとなります。大阪を含めた西日本エリアの需要拡大とともに、より一層、日本市場における身近な航空会社として、認知度の向上を図りたいと考えています。旅行会社の皆様にとっては座席が取りやすく、お客様を安心して任せられる航空会社と言っていただけよう頑張っていきたいと思えます。

——貴社の強みを教えてください。

宮本 世界最新と言われる航空機を多く保有し、2019年スカ

イトラックスで世界第1位の航空会社として評価をいただいた、トップレベルのサービスとプロダクトを提供できる点です。ビジネスクラスについては5年連続でワールド・ベストビジネスクラスをいただいています。また路線網もドーハから現在160都市にアクセス可能で、ここ2年間でモロッコやトルコ、マルタ島やポルトガルなど、新規に21都市に就航しました。

——日本市場への取り組みと旅行会社へのメッセージを。

宮本 当社では日本市場を重要視しており、今後も旅行会社とのパートナーシップを大切にし、日本発路線の座席は日本市場に優先的に供給していく考えです。ぜひ来年4月からの関空線販売にお力添えいただきたく思います。

カタール航空予約センター TEL:03-5402-5282

ノートルダム大聖堂復興へ支援金 JATAとフランス観光開発機構が贈呈式

JATAは10月24日、大阪・南港北のインテックス大阪で開催された「ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2019 大阪・関西」会場で、「ノートルダム・ド・パリ復興キャンペーン贈呈式」を行いました。

JATAとフランス観光開発機構（ATOUTフランス）は、今年4月に発生したノートルダム大聖堂の火災を受けて、同大聖堂



贈呈式に出席したATOUTフランスのカロリーヌ・ルブーシェ総裁（右から2人目）とJATAの田川博己会長（中央）。両氏を挟んで左はパリ地方観光局のエリック・ジュヌメートル会長、右はクリストフ・デクルー局長、左端はフレデリック・マゼンフ在日代表

復興の趣旨に賛同する旅行会社とともに支援金活動を実施しており、贈呈式では今年度上期に集められた支援金が贈られました。

田川博己JATA会長は贈呈式で、「日本人観光客がこよなく愛してきた世界遺産のノートルダム大聖堂の復興に向け、業界を挙げて取り組むにあたり、支援金はツアー参加者からの募金ではなく、該当ツアーの収益の一部から旅行会社が負担する形とした」と説明。支援金は4月から9月までの6カ月間で5社から198万6500円が集まり、在日フランス大使館を通じて贈呈されることとなります。

支援金活動では、パリを含むフランス、または、周辺国を目的地とした募集型企画旅行と受注型企画旅行が対象となっており、対象ツアーのパンフレットやホームページには、JATA作成のロゴとフランス大使の写真入りメッセージ

ジの掲載が可能です。

田川会長は、「10月以降の下期にはさらに6社が加わって、合わせて11社が参画しており、下期分の支援金については、来年4月頃に再度、在日フランス大使館を通じて贈呈する」計画を明らかにしました。

6団体・企業が 世界観光倫理憲章に署名

10月24日にハイアット・リージェンシー大阪で開催された「第3回TEJ観光大臣会合」に先立ち、世界観光倫理憲章の署名式が行われました。

世界観光倫理憲章は1999年10月にチリのサンティアゴで開かれた第13回UNWTO総会で、全加盟国により受け入れられたものです。環境、文化遺産、社会に与える潜在的な悪影響を最小限にとどめつつ、観光の発展を最大限に引き出すことを目指しており、各国政府、観光業界、地域社会、旅行者など全てのステークホルダーが、責任ある持続可能な観光を実現するための規範としてあります。日本では2014年9月、JATA会員会社6社をはじめ、JATAを含む12企業・団体が署名し、日本は41番目の署名国となりました。

UNWTOのブラブ・ポロリカシユヴィリ事務局長や観光庁の田端浩長官などが出席した署名式では、日本旅館協会、西村屋、ピッキオ、滝の湯ホテル、鶴雅ホールディングス、湯元館の6団体企業が署名を行っています。

これにより、日本の署名団体・企業数は20となりました。



世界観光倫理憲章に署名した団体・企業の代表（前列）と臨席した関係者

英国旅行業協会が東京で年次総会

JATAなどの誘致活動も奏功、アジアで初開催

英国旅行業協会（ABTA）は10月7日から9日までの3日間、にわたり、東京・高輪のグランドプリンスホテル新高輪で、同協会の年次総会「トラベルコンベンション」を開催しました。

JATAは、日本政府観光局（JNTO）、プリンスホテル、全日空（ANA）と連携してトラベルコンベンションの誘致活動を誘致委員会として展開し、アジア

兼ロンドン支店長は、年次総会の開会に先立って開催された記者会見で、誘致の理由として「英国旅行市場における訪日旅行の潜在力の高さ」を強調。

ABTAのマーク・タンザーCEOは、「英国では日本への関心が高まっており、年次総会に出席した旅行会社の経営者らが日本の観光資源を体験することで、英国人旅行者も増加するだろう」と語っています。



ABTA年次総会のオープニングに先立って行われた記者会見

で初めて開催されたものです。ABTA 2019トラベルコンベンション実行委員会の委員長を務めた遠藤達哉ANA執行役員欧州・中東・アフリカ室長

〈北海道支部〉
10月16日〓食と農の現地研修旅行／10月29日〓公正競争規約説明会（基礎編）／10月31日〓総務委員会／11月2日〓3日〓北海道旅行博／11月14日〓業務改善委員会／11月18日〓幹事会／11月19日〓海外教育旅行セミナー

〈東北支部〉
10月10日〓海外旅行セミナー in 福島／10月16日〓海外旅行セミナー in 盛岡／10月17日〓幹事会
10月31日〓総務委員会／11月15日〓コンプライアンスセミナー
11月17日〓20日〓タイ視察訪問団

〈中四国支部〉
10月24日〓幹事会
10月10日〓海外旅行委員会チームヨーロッパ／10月16日〓17日〓消費者相談委員会持ち出し委員会
10月18日〓九州広域周遊観光促進連絡調整会議／10月22日〓クルーズ販売セミナー／10月29日〓実務委員会／11月11日〓総務委員会／11月12日〓海外旅行委員会&チームヨーロッパ／11月13日〓国内旅行委員会／11月17日〓18日〓鹿児島空港国際線フェア



タオン・コン
カンボジア王国観光大臣
(10月25日 田川会長を訪問)



ル・クアン・タン
ベトナム文化・スポーツ・観光
副大臣
(10月23日 田川会長を訪問)



レックス・デレス
ルクセンブルク観光大臣兼
中小企業大臣
(10月25日 菊間副会長を訪問)



カロリーヌ・ルブーシェ
フランス観光開発機構総裁
(10月24日 田川会長を訪問)



**ダリウス・
モルクヴェーナス**
リトアニア観光開発
公社ディレクター
(10月25日 田川会長を訪問)



**ベルナデット・ロムロ・
プヤット**
フィリピン観光大臣
(10月24日 田川会長を訪問)



リーナ・アンナーブ
駐日ヨルダン・ハシェミット王国
特命全権大使
(8月8日 志村理事長を訪問)



ウェン・イン
マレーシア サバ州観光局
マーケティング・マネージャー
(10月25日 菊間副会長を訪問)



オウ・キョウホウ
中華人民共和国
文化・観光部政務官
(10月24日 堀坂副会長を訪問)



アイマン・アリ・カーメル
駐日エジプト特命全権大使
モハンマド・ファラハト
(8月16日 志村理事長を訪問)



ベキー・イップ
香港政府観光局本局副理事長
(10月25日 田川会長を訪問)



ピラー・ラグアア
グアム政府観光局
局長兼CEO
(10月25日 田川会長を訪問)



サンティアゴ・パルド
駐日コロンビア特命全権大使
(8月16日 志村理事長を訪問)



エドモンド・バートレット
ジャマイカ観光大臣
(10月25日 田川会長を訪問)



オ・チャンヒ
韓国KATA会長
(10月25日 田川会長を訪問)



**ローデス・A.
レオンゲレロ**
米国グアム準州知事
(8月26日 田川会長を訪問)



**イブラーヒム・モハメド・
ソリフ**
モルディブ共和国大統領
(10月25日 田川会長を訪問)



オウン・マウン
ミャンマーホテル観光省大臣
(10月25日 田川会長を訪問)



**セークサン・
スイープライワン**
タイ国政府観光庁
東京事務所所長
(9月30日 田川会長を訪問)



**ソフィア・プリザント・
ピンカス**
イスラエル観光省
アジアマーケティング部部長
(10月25日 菊間副会長を訪問)



ラニア・アル・マシャート
エジプト観光大臣
10月25日 田川会長を訪問)



ナイル・ギボンズ
アイルランド政府観光庁長官
(10月1日 志村理事長を訪問)



オオイ・チョク・ヤン
マレーシア ペナン州ペナン
グローバルツーリズムCEO
(10月25日 菊間副会長を訪問)



ウルグベック・アザモフ
ウズベキスタン観光開発国家
委員会副委員長
(10月25日 田川会長を訪問)



**クリストバル・エセラ・
ドウボン**
駐日グアテマラ共和国大使
(10月1日 志村理事長を訪問)



**ツェレンバト・
ナムスライ**
モンゴル環境・観光大臣
(10月26日 菊間副会長を訪問)



ソナム・トプゲ
ブータン内務文化省次官
(10月25日 堀坂副会長を訪問)



メルバ・プリエーア
駐日メキシコ合衆国
特命全権大使
(10月15日 志村理事長を訪問)



デビー・レメンゲサウ
パラオ大統領夫人兼
パラオレガシープロジェクト会長
(10月26日 志村理事長と面談)



エフライム・カムントウ
ウガンダ観光大臣
(10月25日 田川会長を訪問)



涂碧波
中国・湖南省常德市
人民政府副市长
(10月18日 志村理事長を訪問)

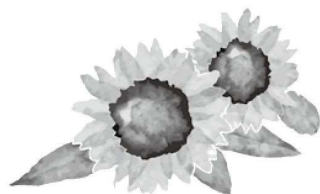
要人往来

8月8日～10月26日

苦情事例に学ぶ⑦⑧

私が契約者なのに、なぜ勝手に取消をした!

監修：弁護士 三浦雅生



したことに旅行会社に腹を立てている。この場合、夫婦は同一とみなし、夫からの申出を受けていいのか?

今回のケースでは、夫人は海外に入院中であり、連絡の取りようがないともいえるし、夫が、自分の考えだけで行った行為であれば、夫人は夫に怒るべきであり、怒りの相手は旅行会社でなく、夫であるとも思われるが……。

通常、これの逆のケースがよくあります。つまり、同様のケースで、旅行会社が、夫の申出を契約者本人ではないからという理由でお断りするということです。

原則的には契約者本人以外からの解除の申出には、応じる義務はありません。契約者本人への確認や必要書面等を割愛して取消に応じ、またはその他情報を開示することは、プライバシーの侵害にあたる恐れがあります。

ただし、一般的に考えて旅行契約者本人が連絡できない状況にあり、その配偶者からの連絡には、夫婦関係が証明できる書類と簡単な委任状を提出いただいたうえで、取消の申出に応じるかどうかを柔軟に考える方法もあります。民法第761条には、日常家事債務について夫婦相互に法定代理権を認められた規定が定められており、夫婦間では、日常的な家事であれば相互に代理権を行使することが可能と規定されています。

一般的には、海外旅行は金額的に大きいことから日常家事に入ることは少ないだろうが、高齢社会になり、夫婦で海外旅行をするのが多いケースもある。この旅行会社も、このご夫婦から前にも夫婦での海外旅行を受けていたとすれば、今回の夫による取消も日常家事の範囲にはいるものと理解したのかもしれない。その場合には、妻から夫への代理権の付与がなくとも、二種の表見代理として、旅行会社が夫に日常家事としての代理権があるものと誤信したこともやむを得ないと解される余地があります。

いずれにしても、トラブル防止の観点からは、夫からの取消とはいえ、本人への確認を原則として、慎重に扱う必要があるだろうと思います。

(江本)

夫婦でもダメ?

海外旅行中に入院することになり、夫が、次の海外旅行には行けないと取消を申し出た。今回の旅行まで、2週間程度の間隔しかなく、本人は海外で入院中ということもあり、夫婦であるため、旅行会社は本人確認はせずに取消をした。ところが、夫人は元氣になり一人で帰国した。次の旅行にも出発するつもりであった。最終日程表も届かないので、夫人は旅行会社に問い合わせをした。すると、すでに夫がその旅行を取消していたことを知った。夫人は、夫婦とはいえ、金を出すのは自分であり、本人確認もなく、勝手に取消



第78回

添乗業務の資格とは

法務・コンプライアンス室
(監修 弁護士 三浦雅生)

今回は「添乗業務の資格」についておさらいします。

企画旅行の添乗業務には資格が必要

旅行業法第12条の11には、企画旅行に参加する旅行者に同行して旅程管理業務を行う者のうち主任の者(以下「旅程管理業務を行う主任者」)は、一定の要件を満たした有資格者でなければならずと規定されています。「企画旅行」とあるのでこの資格が必要なのは募集型および受注型企画旅行の添乗員であり、手配旅行ではこの資格が無くても添乗をすることは出来ます。また、「主任の者」とは添乗員が複数の場合の統括管理者(チーフ添乗員)をいい、この統括管理に属する他の添乗員は必ずしも有資格者である必要はありませんが、行程が異なる場合などで統括管理に属さない者がいる場合は、その者も有資格者である必要があります。

「旅程管理業務を行う主任者」たる資格要件とは

次に「一定の要件を満たした」資格要件と

しては、①適格要件、②研修の修了、③実務経験の3つが規定されています。①の「適格要件」については、旅行業法違反などで旅行業の登録拒否事由に該当しない者であること、②の「研修の修了」については、観光庁長官の登録を受けた「登録研修機関」による「旅程管理研修」を修了していること(修了試験合格者には「修了証明書」が交付されます)、そして③の「実務経験」は旅程管理実務経験(研修修了日の前後1年以内に1回以上又は3年以内に2回以上、海外添乗のためには海外の実務)が必要とされ、この3つの要件が揃って初めて「旅程管理業務を行う主任者」となることができます。なお、この実務経験については「企画旅行」における有資格者の統括管理に属する添乗の他、旅程管理業務を行う主任者の指導による旅程管理業務実務研修や手配旅行の添乗による旅程管理業務も対象となります。

当室には「昔取得した添乗資格が有効か?」との問い合わせが寄せられます。資格に有効期限はありませんので前述の3つの要件を満たしていれば有資格者と認められます。

ただし、平成8年4月1日の旅行業法改正以前に一般旅行業務取扱主任者(現行の総合旅行業務取扱管理者)あるいは国内旅行業務取扱主任者(現行の国内旅行業務取扱管理者)の各試験に合格した方々はこの時の法改正により、②の研修を修了したとみなされます(ただし、国内旅行業務取扱主任者試験の場合には「本邦内の実務経験」のみとなります)。大ベテランの方は再確認の必要があるかもしれません。

添乗の際には主任者証を

添乗に際しては、企画旅行実施会社(自社または(社)日本添乗サービス協会)が発行する「旅程管理業務を行う主任者証」を携帯し、請求があった場合にはお客様へ提示することが通達で定められています(「旅程管理業務を行う主任者証の発行について」平成18年11月16日国総観事第96号)。

さて、この資格を持たない者が企画旅行の添乗をした場合にはどうなるか。登録行政庁は、その旅行業者に対して「旅程管理主任者規定違反」として行政指導を行い、それでも是正されない場合には旅行業法第19条第1項に基づき業務停止処分等を行うことになります。改めて添乗業務に関する資格の再確認と主任者証の適切な運用が行われているかを再点検してみてください。(岩本)

事務局便り

9月の出入国者数(速報値)

出国日本人数は7.4%増の175万1500人

日本政府観光局(JNTO)が10月16日に発表した速報値によると、9月における出国日本人数は前年同月比7.4%増の175万1500人を記録しました。

9月までの累計では、前年同期比7.6%増の1506万2600人に達しており、10月からの四半期における出国者数が前年並みを維持すれば、2019年の出国日本人数は2000万人の大台に乗ることになります。

一方、今年9月における訪日外客数は前年同月比5.2%増の227万2900人を記録し、同2.2%減とマイナスにとどまった今年8月からプラスを回復しました。

8月までの累計では、前年同期比4.0%増の2441万7800人とな

り、こちらも残り3カ月を前年並みで推移すると累計で3000万人を大きく上回る見通しです。

月	訪日外客数			出国日本人数		
	平成30年	平成31年	伸率(%)	平成30年	平成31年	伸率(%)
1 Jan.	2,501,409	2,689,339	7.5	1,423,727	1,452,157	2.0
2 Feb.	2,509,297	2,604,322	3.8	1,390,518	1,534,792	10.4
3 Mar.	2,607,956	2,760,136	5.8	1,807,063	1,929,915	6.8
4 Apr.	2,900,718	2,926,685	0.9	1,356,679	1,666,546	22.8
5 May	2,675,052	2,773,091	3.7	1,383,847	1,437,929	3.9
6 Jun.	2,704,631	2,880,041	6.5	1,421,649	1,520,991	7.0
7 Jul.	2,832,040	2,991,189	5.6	1,557,980	1,659,166	6.5
8 Aug.	2,578,021	*2,520,100	*-2.2	2,033,435	2,109,566	3.7
9 Sep.	2,159,595	*2,272,900	*5.2	1,630,088	*1,751,500	*7.4
1~9 Jan-Sep.	23,468,719	*24,417,800	*4.0	14,004,986	*15,062,600	*7.6

◆注1: 出典:日本政府観光局(JNTO)
 ◆注2: 平成30年(2018年)は推定値、平成31年(2019年)1~9月は暫定値、*部分は推計値。
 ◆注3: 訪日外客数及び9月の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。
 ◆注4: 訪日外客とは、国籍に基づき法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸者等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

●JATA業務予定表11月21日~12月31日

※予定表は変わることがあります。

本部・支部の委員会(予定)

11月20日~21日	国内旅行委員会視察旅行	関東支部
11月21日	海外旅行委員会	北海道支部
11月21日	訪日旅行推進委員会	本部
11月26日	訪日旅行委員会	北海道支部
11月28日	国内旅行委員会	北海道支部
11月29日	法制委員会	本部
12月5日	国内・海外・インバウンド合同委員会	関西支部
12月5日	LADY JATA委員会	本部
12月11日	幹事会	関東支部
12月13日	海外旅行委員会	関東支部
12月15日~16日	インバウンド委員会	関東支部
12月17日	幹事会	九州支部
12月19日	国内旅行委員会	関東支部
12月10日~11日	総務委員会	関西支部
12月13日~14日	幹事会	関西支部
12月20日	幹事会	沖縄支部
12月23日	業務改善委員会	本部

●JATA主催・共催の研修・セミナー等の活動

※セミナーの詳細は、JATAホームページの「JATAが主催・共催するセミナー(研修11月および12月)」、「JOTCプランナーのためのセミナー」よりご参照ください。なお、JATA正・協力会員限定セミナー、又は申込受付を終了したものもありますので、ご了承ください。

11月下旬	旅行サービス手配業務取扱管理者研修	本部
11月下旬~12月上旬	苦情対応セミナー(各地域で開催)	本部
11月上旬~12月中旬	「ハタチの一步」各地域へ出発	本部
11月中旬~下旬	旅行業務取扱管理者定期研修	本部
11月21日	国内募集型IIT約款などに関する説明会(大阪)	本部
11月22日	福岡県観光審議会	九州支部
11月22日	テレワークセミナー	本部
11月22日	JOTCプランナーのためのセミナー(クアアチア)	本部
11月27日	ツアー登山セミナー	本部
12月9日	国内募集型IIT約款などに関する説明会(沖縄)	本部
12月17日	海外教育旅行セミナー	本部
12月24日	クルーズ販売セミナー(JOPA共催)	関西支部
12月25日	学生向け旅行業界研究セミナー	中四国支部

海外卒業旅行企画コンテスト2019、グランプリは明治大学に

JATAは10月25日、インテックス大阪で開催された「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2019 大阪・関西」会場で、「海外卒業旅行企画コンテスト2019」の公開プレゼンテーションを実施し、最優秀のグランプリなど各賞を決定しました。

今年応募のあった総数335件の中から、明治大学「ピーター班」がグランプリに輝いています。

各賞の受賞者・受賞作品は、次の通りです。

◎グランプリ…明治大学「ピーター班」=子供に戻って大冒険～ネバーランドへ“WE CAN FLY!”(協力旅行会社:ANAセールス)／◎優秀賞…東北芸術工科大学「企画構想学科」=つながる旅～人とつながる・文化とつながる～(同:阪急交通社)／◎優秀賞…愛知東邦大学「青春」=スローライフを感じ、冒険旅に出よう～Our Adventure(同:日本旅行)

◎審査員特別賞…九州国際大学「福島ゼミナール ベントウ・ジャーニー」=ベントウ・ジャーニー～タイの旅～(同:西鉄旅行)



グランプリを受賞した明治大学の「ピーター班」のメンバー

ツーリズムEXPOジャパン 2019 大阪・関西 ブースグランプリ&大阪・関西エリア



瀬戸内地域の中四国5県が一丸となり、体験を中心としたアイデア溢れる展示空間も演出されたブース構成が評価されました



業界日の投票でグランプリに輝いた「ワンダフル セトウチ / DISCOVER WEST 連携協議会」のブースは、一般日の投票でも準グランプリを受賞しました



道内各地のワインやチーズなどの試飲試食もできる「HOKKAIDO BAR」など工夫を凝らしたブースの演出が注目を集めました



一般日の投票でグランプリを獲得した「北海道観光振興機構 / JR北海道」のブースは、業界日の投票でも準グランプリを受賞しています

「ツーリズムEXPOジャパン (T E J) 2019 大阪・関西」の最終日となった10月27日、「T E J 2019 大阪・関西」ブースグランプリの各賞が発表されました。業界日の投票による「旅のプロが選ぶブースグランプリ」と一般日の投票による「旅の愛好者が選ぶブースグランプリ」の2部門で選出されています。

【旅のプロが選ぶブースグランプリ】

- グランプリ＝ワンダフル セトウチ / DISCOVER WEST 連携協議会
- 準グランプリ＝北海道観光振興機構 / JR北海道
- 特別賞＝キューバ観光省
- 実行委員長賞＝韓国観光公社

【旅の愛好者が選ぶブースグランプリ】

- グランプリ＝北海道観光振興機構 / JR北海道
- 準グランプリ＝ワンダフル セトウチ / DISCOVER WEST 連携協議会
- 準グランプリ＝台湾観光協会
- 特別賞＝ウガンダ政府観光局

ブースグランプリは「瀬戸内」と「北海道」業界日と一般日の2部門で投票・選出



“Downtown of Japan OSAKA”と銘打たれた大阪観光局のブースには、「町工場のおっちゃん」が教えるクラブ体験コーナーも



会員企業を中心に在阪事業者18社が出展した大阪商工会議所のブース。幅広い産業が観光市場の開拓を目指しています



2025年日本国際博覧会協会のブースは、内外のステークホルダーに大阪・関西万博をPRし、参画機運の醸成を図りました



在阪の鉄道会社7社が共同出展したブースでは、各社の制服を着たマネキンが並ぶフォトスポットが注目を集めました

初めて東京を離れて開催された「T E J 2019 大阪・関西」では、地元エリアからの出展小間数が4倍以上に拡大。自治体や観光協会、観光施設をはじめ、商工会議所や鉄道会社、2025年大阪・関西万博も参加して、関西2府4県から多くの出展者による趣向を凝らした展示で賑わいました。

地元エリアからの小間数は4倍以上
2府4県から多くの出展者が趣向凝らす

文化を活用した観光交流の拡大へ 最新情報の発信と本格的な商談会を実施

中国文化・観光部は、10月24日から27日までインテックス大阪で開催された「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2019 大阪・関西」にブース出展しました。中国の14地域から18企業・団体が参加し、各地の文化・観光の最新情報を発信しています。

14地域から18企業・団体が出展

中国文化・観光部が出展した「TEJ2019 大阪・関西」の中国ブースには、北京市や上海

市、甘肅・貴州・黒龍江・河南・江蘇・遼寧・山東・陝西の各省、内モンゴル自治区、新疆ウイグル自治区など14地域から18の企業と団体が出展しました。



奥深い中国文化を感じさせる「少林カンフー」



「文化」を前面に打ち出した中国ブース



賑わいが続いた各省や市の展示デスク



ブース内ステージで披露された二胡の演奏



華やかさを演出したチャイナドレスショー

中国駐大阪観光代表処の孫衍国所長補佐は、「各省や各市などから政府組織の代表だけでなく、旅行会社やホテルなどの事業者も一緒に来日して、単なる情報提供にとどまらず、今後の日本からのツアー企画や旅行商品造成に向けて、日本の旅行会社と具体的な提携関係につながっていくような商談を積極的に行った」と説明。

従来のように公的機関のトップを中心とする来日の場合、情報交換や意見交換が中心になり、実質的なビジネスの話はできないケースも少なくありませんが、現地企業の担当者が来日し、日本側の関係者と直接話をする事で、実際に取り引きの交渉もできるような気がします。中国文化・観光部としては、昨年から

展示商談会に刷新され、サブライヤーとバイヤーが各出展ブースで商談を行う本格的な「メッセ型」展示会に生まれ変わったTEJの商談機能を十二分に活用する形となっています。

関空ゲートウェイの市場活性化

中国では昨年3月、文化部と国家観光局が統合されて新たに文化・観光部が発足し、文化を活用した観光交流の拡大を推進しています。

孫所長補佐は、「民間レベルでの双方向交流を拡大し深めていくためにも、文化的なテーマを共通項として取り組むことは極めて有意義であり、それをビジネス的に成立させながら発展させていくためには、旅行会社の担当者同

士による商談は極めて重要」と指摘。今回の「TEJ2019 大阪・関西」が、中国駐大阪観光代表処による管轄地域で開催されたことから、孫所長補佐は「関西国際空港をゲートウェイとする西日本市場で、文化的な体験プログラムを活用したツアーやビジネスが進展することを大いに期待している」と語り、「今回の中国ブースも全体的に中国文化の雰囲気濃厚に感じてもらえるように設計した」と強調しています。

中国ブースでは、ブース内のステージでも文化的テーマで様々なパフォーマンスが繰り広げられたほか、消費者が来場する一般日にはブース内のイベントスペースで水墨画と竹簡の体験プログラムも実施されました。

水墨画と竹簡の体験プログラム

孫所長補佐は、水墨画と竹簡の体験プログラムやステージパフォーマンスで茶芸などを実施したことについて、「中国国内で数多く開発されつつある新たな観光素材のごく一部であり、日本市場

でも日本人に馴染みの深いものから少しずつツアーなどに取り入れていただいて、個別の素材テーマについて歴史や背景を旅行者に理解していただくと同時に、それとつかかりにして、より多様な文化体験プログラムにも興味を広げていただきたい」と期待を示しています。

孫所長補佐によると、中国国内でも竹簡がブームになるなど、伝統文化への関心が高まってきており、「日本から中国へいらっしゃる皆さんには、中国の歴史や文化への理解を深めていただくだけでなく、竹簡の体験プログラムなどを通じて現在の中国社会にも目を向けていただければ」とも語っています。



短時間で見事に仕上げた水墨画体験

業界日に中国ブースを訪れた旅行業界の関係者も、水墨画や竹簡、茶芸などへの関心を示していたことから、孫所長補佐は「日本からの中国ツアーのコンテンツとして取り込んでいただいたり、お客様にも積極的に情報を提供してほしい」と呼びかけています。

「少林カンフー」で若年交流も

中国ブースでは、ブース内ステージで少林カンフーの本場である河南省高山少林寺武術館の武僧が繰り返し演武を披露したほか、「TEJ2019 大阪・関西」の特設ステージでも華麗なパフォーマンスが繰り広げられ、来場者の注目と喝采を浴びました。

孫所長補佐は、「中日間では青



孔子の時代に思いを馳せた竹簡体験

少年交流の促進も両国のテーマの一つとなっているが、来日した武術館の武僧にも若者が多いことから、若年層における双方向交流のテーマの一つとして『少林カンフー』と説明。日本国内でも「少林カンフー」が登場するマンガやアニメの作品が根強い人気を維持しており、その人気は世界的な広がりを見せていることは周知の通りです。現地側との協力による「少林カンフー」の体験プログラムづくりなども含め、旅行業界による新たな需要開発や既存市場の深掘りに向けた知恵や工夫も期待されています。



特設ステージで繰り広げられた「少林カンフー」

中国駐大阪観光代表処／中国駐東京観光代表処

JATA 旅行・観光業界 就職セミナー

旅行・観光業界に関心のある新卒学生に直接アプローチできるチャンスです！
多種多様な旅行・観光業界の仕事の魅力を、しっかりと伝えることができます。

2020年3月16日【月】 13:00~17:00

会場：東京都立産業貿易センター 台東館 7階展示室

●東京都台東区花川戸2-6-5 ●東京メトロ銀座線(地下鉄)浅草駅【7番出口】より徒歩5分



内容 主に観光系学部学科を有する大学等の学生を対象とした
旅行・観光業界就職セミナー

対象 ● 観光系学部学科に所属する学生
● 旅行・観光業界に興味関心のある学生
2021年3月卒業予定者

企業数 先着30社限定

参加費 100,000円(税別) / 社 ※電源工事費込み

告知方法 ● 大学就職課から学生へのアナウンス
● 「旅行・観光業界 就職.com」登録学生へのメール配信

前回実績

- 開催日：2019年3月20日(水)
- 来場者数：531名
- 出展企業数：27社

お申込みの手続き

- 1 参加希望の企業様は下記のお問合せ先までご連絡ください。
セミナー申込締切：2020年1月10日(金)
期限内であっても申込企業様が30社に達した時点で締切となります。
※2019年12月20日(金)までのお申込み企業様に限り、セミナー開催日前に、予約参加学生全員へ貴社の企業紹介メールを配信するサービスを提供いたします(文案は企業様作成)。
- 2 申込受付後、来場学生に配布するパンフレットを制作します。(1月下旬頃)
参加各社の企業情報や採用情報をパンフレットに掲載しますので、別途お送りする原稿用紙にご記入の上、指定された期限までにご返信ください。最終校正後、ご了承いただいた内容で印刷させていただきます。
- 3 開催1ヶ月前に、開催要項(当日の詳細)をお送りします。
- 4 セミナー当日は、開始30分前までにお越しください。

主催 一般社団法人日本旅行業協会(JATA) / 株式会社ジャタ

2020年1月より掲載開始 申込受付中!!



旅行・観光業界 就職.com

ここがポイント!

ポイント1

旅行・観光業界に特化した企業情報サイトです。

ポイント2

旅行・観光業界に興味がある学生、旅行・観光業界での経験がある社会人が登録しています。

ポイント3

10,000円でご利用可能です。(最長12ヶ月間)

ポイント4

企業情報の写真や文章は、自由に変更できます。

ポイント5

観光系学部の学生や旅行・観光業界に興味のある学生が、毎年1,000名以上利用しています。

ご利用料金

- 基本プラン ¥10,000(税別)
 - ▶ 機能
 - 企業PR欄(掲載記事の写真や文章は自由に変更できます)
 - 企業データ(会社概要や自社サイトURLの掲載ができます)
 - 採用HPへのリンク(専用ページや外部サイトへの移動ができます)
 - ▶ 掲載期間 2020年1月1日~2020年12月31日(最長12ヶ月間)
- オプション[ネットDM] ¥10,000(税別)
 - 旅行・観光業界 就職.com登録者全員に、ネットDMを1回配信(要予約)
- オプション[バナー広告] ¥30,000(税別)
 - 旅行・観光業界 就職.comトップページに、貴社バナー広告を掲載[1ヶ月間]

運営サイトURL: www.mda.jp/job-tourism